

#252

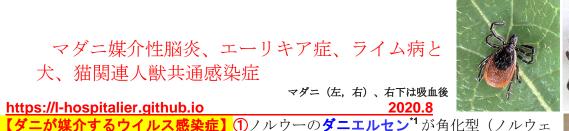


マダニ媒介性脳炎、エーリキア症、ライム病と 犬、猫関連人獣共通感染症

一疥癬)を報告した**疥癬**はウイルスではなくダニ自身の皮下侵入。**②日本紅斑熱、4** 類全例即は 1984 年徳島の馬原医師が報告したマダニ媒介リケッチアによる重篤な疾

https://l-hospitalier.github.io

マダニ (左,右)、右下は吸血後 2020.8





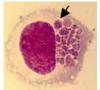


患。 テトラサイクリン有効。**③重症熱性血小板減少症候群(SFTS)4** 類全例即はマ ダニ媒介の**ブニヤウイルス**感染症。 飼い犬から感染も(アビガン有効?)。**④ダニ媒 介性脳炎(tick-borne encephalitis、TBE)** (2012.7 以降 4 類全例即) は中枢神経系 のフラビウイルス(語源は黄熱病でラテン語の黄:flavus、日本脳炎も)感染症でダニ と齧歯類が自然宿主。 冬にもある。 以下の2型はいずれも髄膜炎、脳炎を発症。 a. 中部ヨーロッパ脳炎:潜伏期間 7~14 日で典型的には 2 相性症状。 第 1 期はインフルエ ンザ様症状で1週間で消失。 解熱2~3日後に第2期に入り痙攣・眩暈・知覚症状など の中枢神経系症状を呈する。 麻痺が 3~23%で見られ死亡率は 1~5%。 感覚症状など の後遺症は 35~60%。 重篤度は東欧州で重篤、西欧州は比較的軽度。b. ロシア春夏脳 炎:潜伏期間は7~14日で2相性の症状はない。潜伏期の後に頭痛・発熱・悪心・嘔吐 が見られ、症状最大時に脳炎症状が見られる。中部ヨーロッパ脳炎より高い致死率30%。 多くの例で麻痺が残る。 **北海道道南地域のイヌが抗体を保持**(1993)。 北海道の 4 例は高熱と神経症状を示した後、退院後も麻痺の後遺症あり。 山羊の乳からの感染報 告あり。 a.b. の予防はバクスターやベーリンガー製のワクチン。a には治療に y グロ ブリン製剤(国外)。 2017.12 に北大が広島、愛媛、京都などで捕獲した猪の 13%で ダニ媒介性脳炎(TBE)ウイルス抗体陽性を確認、TBE が日本全国に存在する可能性を 報告。**⑤エーリキア症(Ehrlichiosis**)は**マダニ**が媒介する**新興感染症**で発熱、頭痛、 貧血、白血球減少、血小板減少など風邪と似た臨床症状を示す「**ヒト顆粒球エーリキア** 症」と「ヒト単球エーリキア症」がある。 エーリキア (Ehrlichia) 症の病原体は 1~3 μ m の球桿状の**偏性細胞寄生性細菌**^{*2}(リケッチア説も)。 自然界でエーリキアは、 マダニが保菌動物(哺乳類)へ咬着し動物間で繁殖。 人間が自然界に入りマダニの刺 咬で人体内に移行。 体内では造血系細胞(単球、マクロファージ、顆粒球、赤血球) の細胞質中にマイクロコロニー(寄生性小胞)を形成、その中で増殖する(右図)。こ れが「**桑の実**」に似ているので**モルラ**(morula)と呼ばれる(mulberry 「桑の実」羅 が語源)。 **モルラ**がエーリキアの特徴。 治療はテトラサイクリンやマクロライド、 ただし免疫抑制患者や治療が遅れた場合は重篤で致死的。 ⑥ライムボレリア症 (Lyme **borreliosis**、右図): **ライム病***3 はスピロヘータの一種、48 時間以上の吸血で感染。 長 いと潜伏期は 30 日。 第 1 期は遊走性発疹。2 期は全身の多彩な(神経)症状を経 て3期の慢性期へ。 スピロヘータの培養は困難で ELISA 他で抗体価上昇を診断。 【犬猫が媒介する感染症】①パスツレラは通性嫌気性グラム陰性菌で Pasteurella multocida、P. canis(犬)、P. dagmatis、P. stomatis の 4 種あり P. multocida が主。 猫、ウサギは 100%犬 75%が口内にパスツレラを持つ。 免疫低下宿主(飼主)の呼吸 器に感染。かまれると皮膚病変や蜂窩織炎を起こす。パスツールにちなみ命名。multo は多数(multi)、cida は殺す(cide)で家禽コレラの病原菌として鳥類の高い死亡率か ら命名された。 マクロライド、ペニシリン、キノロンなど有効。 敗血症による死亡も ある。 **②バルトネラ** (Bartonella) は猫ひっかき病(cat scratch disease)の病原菌と して 1992 年同定。 **a.バルトネラ・ヘンセラエ**(B. henselae) と塹壕熱の原因の **b.バ** ルトネラ・クインタナ(B. quintana)があり a は多彩な症状と培養困難で診断が難し い(PCR あり)。 リンパ節腫脹と β ラクタム剤無効で抗菌薬の効果は疑問。 自己免 疫性脳炎と思われる統合失調症様症状もある。<mark>【その他】</mark>最近ペットから**コリネバクテ**

[゛]女婿はハンセン病の原因菌、癩菌(Mycobacterium leprae)を発見したゲルハール・ヘンリック・アルマウェル・ハン セン。 疥癬は肥前(ヒゼン)ではなく皮癬(ヒゼン)ダニ。 ² アナプラズマ科にエーリキアとアナプラズマがある。 分類は細胞内寄生細菌説とリケッチア説がある。ハリソン5には**リケッチアの概念は無く**、グラム陰性小球桿菌(p915、 p1195)。³ ライムはコネチカット州の地名。 本疾患は 19 世紀に欧州で知られていたが 1975~77 にニューヨーク州の 風土病として報告されていたが日本初登場は 1986 年。 日本古来のツツガムシ病はダニ媒介リケッチア(真正細菌)。

リウム・ウルセランス感染例がありジフテリア (C. diphtheriae)類似症状で死亡。

モルラ



ライムボレリア



遊走性発疹

